



いたびつ 板櫃 <校訓> 真理の探究 自主躍進

令和6年5月14日(火)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

ふれあい合宿を実施します！(1年生)

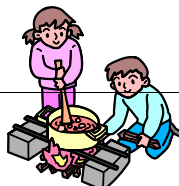
5月16日(木)～5月17日(金)の2日間、「玄海青年の家」でふれあい合宿があります。安全と健康に気を付けて、有意義な合宿にしましょう。

「玄海青年の家」は、グリーンパークに隣接し、頓田貯水池湖畔に立地しています。豊かな自然の中でカヌー、ウォークラリー、オリエンテーリング、野外炊飯などの野外活動が宿泊または日帰りで行えます。また、ウォールクライミング、キャンプ場、会議室、体育館などの施設があり団体・グループで利用できます。日頃経験できない自然の中での活動を通して、自然の豊かさや壮大さを知り、その素晴らしさを感じてください。

「ふれあい合宿」の目的は、自然の中で規律ある集団生活を通して、友だちや先生、所員の方と語り、友情や信頼を深めることにあります。たくさんの友だちとコミュニケーションを図り、日頃の学校生活では見ることのできない友だちの「よさ」を発見してください。もちろん、自分自身の「よさ」「頑張る気持ち」「感謝の心」も学んでください。

この1泊2日の「ふれあい合宿」が有意義なものとなるように、次の5点を守っていきましょう。

- ① <責任>協力して係や班の活動に取り組み、責任を果たしましょう。
- ② <思いやり>お互いがいやな思いをせず、みんなが楽しく取り組めるように一人一人が助け合いの心を大切にしましょう。
- ③ <規律>5分前行動を心がけ、気持ちのよい元気な挨拶をしましょう。
- ④ <はじめ>活動プログラムの意味をきちんと理解し、「元気に活動する場面」と「静かに自分を見つめる場面」を区別しましょう。
- ⑤ <安全>ケガや事故がないように、落ち着いて行動しましょう。



この2日間を通して、1年生152名が今まで以上に大きく成長し、集団生活における社会性をしっかりと身に付けていくことを期待しています。

<保護者の皆様へ>

子供は、身近な存在である友だちや地域社会などとかかわり合い、様々な体験を通して、自己と向き合い、人間関係能力や社会性などを身に付け、成長します。また、自然と触れることで、自然への畏敬の念を育み、自然の仕組みを理解し、豊かな感性が育まれていくと考えられます。

しかし、今、子供たちの生活体験、社会体験、自然体験などが不足しているために、学習意欲の低下やねばり強く課題に取り組むことが難しくなっていたり、自分に自信がもてず、将来や人間関係に不安を感じたりする現状があり、体験活動の充実が大きな教育課題となっています。

国立青少年教育振興機構(以下「機構」という。)が行った「青少年の体験活動等に関する意識調査～心身の諸側面、社会経済的背景との関係～」(令和元年度調査)において、「自然体験や生活体験、文化芸術体験が豊富な子供、お手伝いを多く行っている子供は、自己肯定感が高く、自立的行動習慣や探究力が身につけている傾向がある」と示されています。参考にしてください。

機構の別の調査においては、自然体験や生活体験が豊富な小中学生ほど、道徳観・正義感が強く、さらに他者への思いやりや積極性などの自立的行動習慣が身に付いており、自己肯定感も高い傾向にあることが明らかになっています。

その意味で学校でも、「ふれあい合宿(1年)」「修学旅行(2年)」「社会見学(3年)」の行事を単なる行事の消化に終わることなく有意義なものにしていきたいと考えています。